

経営評価シート

1. 団体の基本的情報							
団体名	福岡県道路公社			設立年月日	昭和49年12月2日		
所在地	福岡市博多区吉塚本町13番50号 福岡県吉塚合同庁舎4階						
出資総額	22,865,000千円		主な出資者	出資額	出資割合		
県出資額	15,475,250千円		福岡市	7,389,750千円	32.3%		
県出資割合	67.7%			千円	%		
				千円	%		
設立目的等	福岡県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して、交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与する。						
現状の主要事業の内容							
事業名	事業内容						
維持管理業務	福岡前原道路(L=14.2km)の運営管理 ※ 料金徴収期間満了に伴い、天神中央公園駐車場は平成28年4月3日に福岡市に、冷水道路(L=5.9km)は平成28年5月15日に福岡県にそれぞれ移管した。						
事業実績に関する情報	単位	H26	H27	H28	H29	H30	備考
冷水道路1日当たり交通量	台	8,617	8,449	8,334	-	-	H28年5月県に移管
福岡前原道路1日当たり交通量	台	20,814	22,281	23,285	24,117	24,761	前原料金所
〃	台	29,555	31,547	33,181	34,395	35,010	福岡西料金所
天神中央公園駐車場1日当たり利用台数	台	770	764	787	-	-	H28年4月福岡市に移管
2. 団体の組織・人員情報							
代表者名	理事長 小路 智		区分	県OB			常勤
常勤役員名			区分				
		H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1
常勤役員数(※)		2名	2名	2名	1名	1名	1名
職員数	常勤(正規)	10名	9名	9名	9名	9名	9名
	うち プロパー	-	-	-	-	-	-
	嘱託(常勤・非常勤)等・臨時	4名	6名	6名	6名	6名	5名
	合計	14名	15名	15名	15名	15名	14名
増減の主な理由							
<p>○平成26年度： 経費節減のため、プロパー職員退職後、嘱託職員で補充</p> <p>○平成27年度： 冷水道路及び天神中央公園駐車場の料金徴収期間満了に伴う道路管理者への管理引継の準備等を行うため、嘱託職員(常勤)を採用したことによる増</p> <p>○平成28年度： 部課制への移行(組織改編)による業務推進課職員の減(平成27年度は、H27.4.22から常勤(正規)職員数は10名で合計16名。)</p> <p>○平成29年度： 管理施設の減に伴う組織見直しによる減(常勤役員を非常勤役員へ)</p> <p>○平成30年度： 増減なし</p> <p>○平成31年度： 経費節減のため、再雇用職員退職後、補充なし(平成31年度は、H31.4.23から常勤(正規)職員数は8名で合計13名。)</p>							
3. 県関与の状況							
人的支援(常勤役員再掲)(※)	H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1	
県派遣	9名	8名	9名	8名	8名	8名	
県OB	3名	3名	2名	2名	2名	2名	
財政支出	H26	H27	H28	H29	H30	備考	
出資金	-	-	△261,750千円	-	-	県出資相当額の返戻	
貸付金	-	-	-	-	-		
補助・負担金	707,958千円	279,597千円	62,591千円	1,219千円	1,252千円		
委託料	29,050千円	398,800千円	99,550千円	-	-		
4-①. 中期経営計画における改善に向けた取り組みの方向性(H29～H33)							
「安全・安心・快適な道路の提供」、「利用者の満足度向上」、「健全な公社経営」を基本方針とした、より健全で親しまれる道路の運営を目指す。							
4-②. 中期経営計画における改善目標の達成状況							
別紙に記載							

※役員改選を理由とする年度当初の一時的な減は、反映していない。

5. 経営状況(道路公社)							
項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30	
【貸借対照表】							
資産合計	千円	93,870,726	93,989,784	72,308,275	72,525,249	72,947,319	
うち金銭債権	千円	269,804	452,708	313,103	249,203	316,287	
うち棚卸資産(販売用不動産含む)	千円	760	611	341	494	319	
負債合計	千円	67,201,276	67,320,334	49,443,275	49,660,249	50,082,319	
うち借入金額	千円	25,716,765	23,132,094	21,612,466	20,030,836	18,544,641	
うち県からの借入金額	千円	-	-	-	-	-	
資本の部合計	千円	26,669,450	26,669,450	22,865,000	22,865,000	22,865,000	
県債務保証額又は損失補償額	千円	25,716,765	23,132,094	21,612,466	20,030,836	18,544,641	
団体債務保証額	千円	-	-	-	-	-	
【損益計算書】							
業務収入①	千円	4,760,797	4,903,488	3,711,248	3,626,933	3,735,106	
業務損益②	千円	3,305,521	2,621,065	1,656,116	1,872,739	1,907,455	
償還準備金及び道路(駐車場)事業損失補てん引当金繰入前損益③	千円	3,209,371	2,537,525	1,704,557	1,806,334	1,907,942	
当期損益	千円	-	-	-	-	-	
【収支計算書】							
総収入 A	千円	10,744,786	10,510,479	10,194,166	9,235,156	9,450,204	
うち県財政支出額	千円	737,008	678,397	△99,609	1,219	1,252	
内訳:出資金	千円	-	-	△261,750	-	-	
内訳:補助負担金	千円	707,958	279,597	62,591	1,219	1,252	
内訳:委託料	千円	29,050	398,800	99,550	-	-	
内訳:貸付金	千円	-	-	-	-	-	
総支出 B	千円	10,465,779	10,064,567	9,635,634	9,318,536	9,336,262	
うち人件費総額	千円	122,043	112,815	104,897	114,525	115,325	
当期収支 A-B	千円	279,007	445,911	558,533	△ 83,380	113,942	
【財務指標】							
自己資本比率	%	28.4	28.4	31.6	31.5	31.3	
県財政支出率	%	6.9	6.5	1.6	0.0	0.0	
人件費率	%	2.6	2.3	2.8	3.2	3.1	
繰入前損益率	%	67.4	51.7	45.9	49.8	51.1	
【団体毎の経営評価指標】							
料金収入実績							
冷水道路	千円	717,694	693,659	74,048	-	-	
福岡前原道路	千円	3,077,979	3,302,079	3,456,058	3,590,782	3,673,756	
天神中央公園駐車場	千円	210,105	206,885	1,028	-	-	
収支率(費用/収入)							
冷水道路	%	26.7	80.5	215.6	-	-	
福岡前原道路	%	49.2	47.0	53.5	61.2	60.8	
天神中央公園駐車場	%	41.8	72.4	28.5	-	-	
【常勤役職員の報酬・給与に関する状況(平成30年度)】							
常勤役員平均年齢	61.0歳	常勤役員平均年収	7,148千円	常勤職員平均年齢	48.9歳	常勤職員平均年収	7,403千円
【経営状況に関する各数値、指標の増減理由】							
<p>資産合計は、前原料金所の管理棟増築・倉庫棟移設、地下通路・レーンの新設や福岡西及び前原料金所のETCレーンの増設により増加した。福岡前原道路の通行量の増加により、業務収入、総収入は増加したものの、ETC増設、交通管制設備更新工事等により工事請負費が増加したため、総支出も増加した。</p>							
6. 団体(経営責任者)の自己点検評価							
<p>福岡前原道路の交通量の増加に伴い、料金収入実績は、8千300万円増加し、損失補てん引当金及び償還準備金繰入額は、約1億円増加した。</p> <p>道路利用者のために道の駅等に道路マップを配布するなどの利用促進活動、料金收受員の接遇向上のため、委託会社による研修実施など、利用者サービス向上に努めた結果、利用台数及び業務収入の増加を図ることができた。</p> <p>更に、渋滞緩和及び利便性の向上のため、各料金所の上下線に新たにETCレーンを1箇所ずつ、計4箇所増設した。</p> <p>また、アセットマネジメント手法を取り入れた維持管理による経費削減、資金調達における入札制度の導入による支払利息の削減などのコスト削減に努めた結果、目標項目の達成を図ることができた。</p> <p>今後とも、安全・安心を第一に配慮した路線運営に努め、営業活動等による料金収入増を図るとともに、事務事業の改善を図るなど、より一層の経費節減に努め、経営の安定化に向けた取組みを進めることとしたい。</p>							
7. 外部専門家の意見							
<p>・現在運営管理している福岡前原道路では、現在の中期経営計画期間における交通量及び料金収入がともに継続して前年度を上回っている。今後も状況を見極めながら適時対応することが求められるとともに、引き続き、経費の節減等に努め、経営の安定化に取り組むことが求められる。</p>							

8. 経営評価委員会による経営評価結果

福岡前原道路の交通量及び料金収入は、ともに前年度を上回っている。
今後とも、利用者の安全・安心の確保と共に利便性の向上に努めることで利用促進を図り、料金収入を確保しつつ、引き続き、経費の節減に取り組み公社運営の安定化を図る必要がある。

※県債務保証額には利息分を含まない。

4-②. 中期経営計画における改善目標の達成状況

改善目標の区分(視点)	目標達成に向けた具体的な取組、戦略等	指標	単 位	上段:計画 下段:実績						改善目標区分の達成に向けた2018年度(H30)の取組状況	
				2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)		
事業活動・住民サービス (計画性・公益性等)	① 福岡前原道路の利用促進に努め、業務収益の確保を図る。	福岡前原道路の1日当たりの平均交通量	台/日		60,419				69,297	道路の利用促進に向け、道の駅や観光地のホテル、観光協会等へ道路マップを配布し、利用台数の増加に努めた。 料金收受員の接遇対応向上のため、委託会社による研修実施など、利用者サービスの向上に努めた。	
		福岡前原道路の業務収益(年間収入)	千円/年	56,466	58,512	59,771			4,244,218		
財務会計 (経済性・効率性等)	① 借入金の調達に際し、効率的な資金調達に努め、将来の金利負担を軽減する。	資金調達方法	-		競争入札による調達金利低減				競争入札による調達金利低減	県内、県外を含め13行の金融機関から借入利率を徴することにより競争性を高め、低利率で資金を調達することに努めた。 収入増及び経費節減を図り、長期借入金の返済による残高減に努めた。	
		長期借入金残高(福岡前原道路)	百万円	21,612	20,031	18,544			13,089		
	② 定期的な維持管理業務(除草、路面清掃等)を引き続き効率的に実施する。	経常的維持管理業務費	百万円	29	24	26			28	インフラ長寿命化対策による大規模更新・修繕に伴い、電気機械設備保守点検委託料が増加した。その他の維持管理業務経費については、ほぼ前年度並みとなっている。	
		自己資本比率	%	31.6	31.5	31.3			31.8		
	③ 財務諸表	人件費率	%	2.8	3.2	3.1			2.7	自己資本比率、人件費率、及び県財政支出額は、前年度からほぼ横ばいである。 県財政支出額は、地方公務員等共済組合法に基づく県負担金のみである。 収入増及び経費節減を図り、長期借入金の返済による残高減に努めた。	
		県財政支出額	千円	162,141	1,219	1,252			833		
		県債務保証額	百万円	21,612	20,031	18,544			13,089		
	内部管理 (健全性等)	① 労働契約法の改正に伴う無期労働契約の導入に際して、関係規程等の整備を遺漏なく進める。	労働契約法の改正に伴う規程等の整備	-		検討				実施	年度途中で総務部長による個人面談を行うなど、給与へ反映していくかを含め、導入に向けて検討を行っている。 業務量に応じた適切な人員配置を行った。
		② 嘱託職員が職務遂行を通じて発揮した能力や挙げた業績を的確に把握した上で、職員の士気の高揚と能力の開発を図る。	人事評価制度の導入	-		検討	検討			実施	
③ 適正な職員数の配置を行い、人件費の縮減に努める。		職員数	人	15	15	15			13		

達成状況(まとめ)

目標年次における改善目標の達成を目指し、引き続き経営改善等を進めた結果、概ね目標を達成したところである。今後も利用者サービスの向上と営業活動の強化による料金収入の確保に努めるとともに、経費節減を図り、経営安定化に向けた取組を進めていく。